

## 事後評価結果（令和5年度）

担当課：中日本高速道路(株)経営企画課  
担当課長名：杉井 淳一

事業名	東海北陸自動車道 <small>しろとり ひだきよみ</small> 白鳥～飛騨清見		事業区分	高速自動車国道		事業主体	中日本高速道路(株)		
起終点	自：岐阜県郡上市白鳥町那留 至：岐阜県高山市清見町夏厩					延長	40.9km		
事業概要	<p>東海北陸自動車道は、中部圏を南北に縦断し、かつ名神高速道路と北陸自動車道を結び、中部圏における骨格的交通網交通網の中枢を成し、東海地域・北陸地域の一体的発展に大きく寄与する路線である。本事業は、このうち白鳥ICから飛騨清見IC間の41kmについて暫定2車線を完成4車線に整備する事業である。</p>								
事業の目的・必要性	<p>東海北陸自動車道は、一般国道156号に平行して中部圏を南北に縦断し名神高速道路と北陸自動車道に連絡し広域的なネットワークを形成することから、当該区間の4車線化により、渋滞や事故、通行止めなどのリスクが低減され、観光施設へのアクセス向上や安全かつ円滑な交通の確保に大きく役割を果たすものである。</p>								
事業概要図									
事業の効果等	事業期間	事業化年度	S63年度	用地着手	S63年度	供用年	(当初)H11・H12/H30・H31	変動	1.0倍
		都市計画決定	-年度	工事着手	H1年度	(暫定/完成)	(実績)H11・H12/H30・H31		
	事業費	計画時	(名目値)-/846億円	実績	(名目値)-/1,064億円			変動	1.3倍
		(暫定/完成)	(実質値)-/805億円	(暫定/完成)	(実質値)-/1,013億円				
	交通量 (当該路線)	計画時	9,700～10,800台/日	実績	10,900～13,000台/日			変動	115%
	(暫定/完成)	(H27)	(暫定/完成)	(R4)					
旅行速度向上 (供用前現道→当該路線)	81 km/h → 98 km/h (供用前年次)2017年 (供用後年次)2022年		交通事故減少 (供用前現道→供用後現道)		47.4 → 42.0 件/億台キロ (供用直前年次) 2015年～2017年平均 (供用後年次) 2022年				
費用対効果 分析結果 (当初)	B/C	総費用 4,479億円 (事業費: 3,711億円 維持管理費: 768億円 更新費: 0億円)		総便益 5,732億円 (走行時間短縮便益: 4,402億円 走行経費減少便益: 931億円 交通事故減少便益: 398億円)		基準年 H27年			
費用対効果 分析結果 (事後)	B/C	総費用 6,562億円 (事業費: 5,245億円 維持管理費: 1,144億円 更新費: 173億円)		総便益 10,161億円 (走行時間短縮便益: 8,479億円 走行経費減少便益: 1,360億円 交通事故減少便益: 322億円)		基準年 R5年			

事業遅延による コスト増	費用増加額 -億円	便益減少額 -億円
事業遅延の理由 -		
交通量変動の理由 -		
客観的評価指標に対応する事後評価項目 <ul style="list-style-type: none"> <li>円滑なモビリティの確保（渋滞緩和・時間信頼性の向上）</li> <li>物流の効率化支援（農産物の出荷への効果）</li> <li>個性ある地域の形成（渋滞の緩和による冬季の観光活性化）</li> </ul> <p style="text-align: right;">他7項目について効果の発現が見られる。</p>		
その他評価すべきと判断した項目 特になし		
事業による 環境 変化	環境影響評価に対応する項目 <b>【大気質】</b> ・当該区間の整備により自動車からの二酸化炭素・窒素酸化物・粒子状物質の排出量が削減され、環境負荷低減に貢献。 CO2：2万トン/年削減 NOX：36トン/年削減 SPM：4トン/年削減	
	その他評価すべきと判断した項目 特になし	
事業評価監視委員会の意見 対応方針（案）のとおり対応方針を了承		
事業を巡る社会経済情勢等の変化 R2 東海北陸自動車道（城端SA～福光IC）4車線化 R3 東海北陸自動車道（南砺スマートIC～小矢部砺波JCT）一部4車線化 R4 東海北陸自動車道（五箇山IC～城端SA、福光IC～小矢部砺波JCT）一部4車線化		
今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性 費用対効果分析の結果や現時点における利用状況、事業効果発現状況から、整備効果が得られており、本事業としては今後事後評価の必要性はないものと考えられる。		
計画・調査のあり方や事業評価手法の見直しの必要性 事業評価監視委員会の付帯意見のとおり		
特記事項 特になし		

※ 事前は平成27年に実施した白鳥～飛騨清見の再評価の結果をもとに記載。

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。